

2014年8月29日

株式会社ネクス

ヴィストン株式会社と共同開発の介護ロボットの試作機、導入決定

株式会社ネクス（本社：岩手県花巻市、代表取締役社長：秋山 司、以下、「ネクス」）と、ロボット関連製品のメーカーであるヴィストン株式会社*¹（本社：大阪府大阪市、代表取締役：大和 信夫、以下、「ヴィストン」）により、共同開発中の介護ロボットの試作機の地方自治体への試験導入が決定しました。

○共同開発について

2014年4月30日にプレスリリースを致しました、ヴィストンとの介護ロボット開発について、2014年6月26日にプレスリリースした「ヴィストン株式会社と共同開発の介護ロボットの試作機、導入決定」で介護事業社様への試験導入の決定に続き、この度地方自治体への導入が決定致しました。

本件共同開発は、ヴィストンの開発する介護ロボットに対し、当社の通信モジュールを組み込むことで、将来的に介護ロボットの遠隔制御や状態監視、高齢者の見守り、音声や画像の送信、ロボットのソフトウェアのアップデート等を実現します。また、当社子会社でシステム開発会社であるネクス・ソリューションズでは、ロボットから収集したデータを蓄積するサーバーやそのデータを活用し役立てる為のアプリケーションの開発を行うことで、スタンドアローンのロボットでは実現できない様々な可能性・拡張性を付加させる事が可能です。

現在開発中の試作機は、ヴィストンの得意とする小型のヒューマンノイド型で、外見や、手触り・材質からコミュニケーションの内容まで、細部にわたり提携する介護事業者の介護現場でのノウハウを集結した、高齢者の方の心を優しく和ませる事が出来るコミュニケーションロボットです。試作機の開発完了は本年中を予定しておりますが、完成時に下記地方自治体を通して独居生活をする高齢者のお宅に導入をする予定です。

また、開発中の介護ロボットの仕様や完成時期につきましては、詳細が確定しましたら、適宜発表をおこなう予定です。

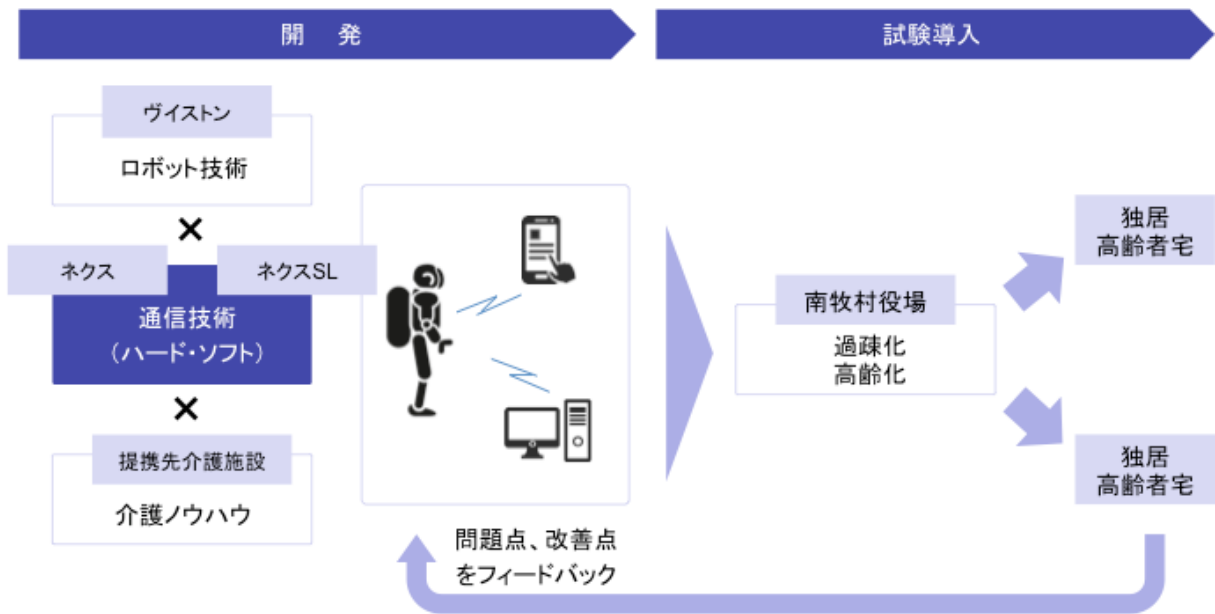
○導入先自治体

南牧村役場（群馬県甘楽郡南牧村） <http://www.nanmoku.ne.jp>

南牧村は群馬県の南西部に位置する村で、人口2,200人程の過疎の村で、平成17年に「高齢化率日本一」となり、実に人口の57.89%（平成26年4月1日現在）が65才以上の高齢者です。

ネクスグループでは、以前より南牧村でのボランティア活動を行なうなどの交流を持ってまいりましたが、この度、南牧村役場を通して独居生活の高齢者のお宅に介護ロボットの試験機を導入する事になりました。この試作機導入によりモニタリング・データ収集をおこない、製品化に向けた改善をおこないます。

今後も試作機導入先を追加した際は、適宜発表をおこなう予定です。



○介護ロボット市場について

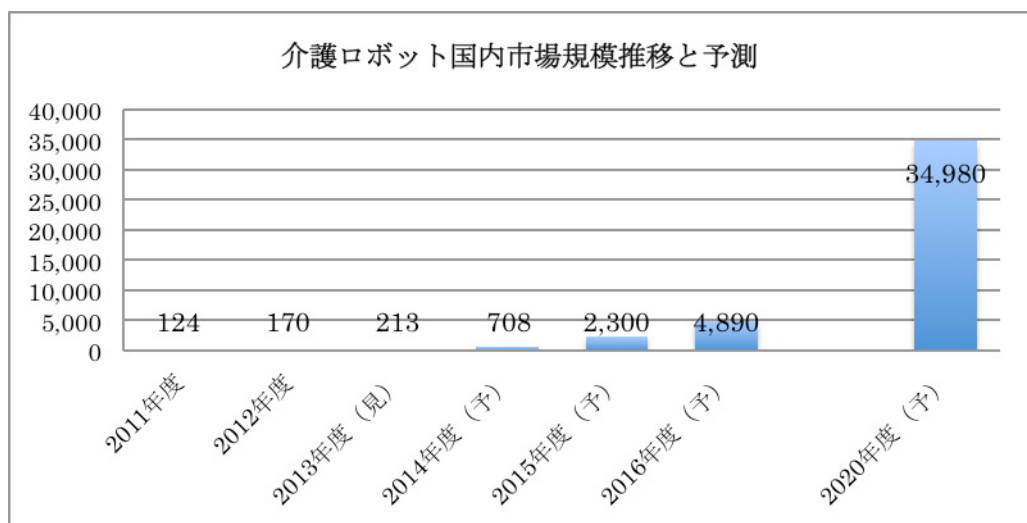
介護業界は、高齢者人口の増加を背景に拡大を続けています。平成24年の要介護認定者数は548万人。平成12年の249万人に比べ、12年で約2倍以上に増加しています。さらに10年後には、人口800万人を超える“団塊の世代”が後期高齢期を迎え、さらなる増加が見込まれています。

こうした高齢者人口の増加を背景に、経済産業省と厚生労働省は、ロボット技術による介護現場への貢献や新産業創出のため、平成24年11月に「ロボット技術の介護利用における重点分野」を策定しました。

国内の介護ロボット市場規模は、2012年度は1億7000万円と、現状ではまだ市場規模は小さいですが、機能向上やコストダウンが進み、2015年度に予定されている介護保険制度の見直しで、介護保険が適用される介護ロボットが増加すれば、国内の介護ロボット市場規模は、2015年度には23億円（13倍超）、2020年度には349億8000万円（205倍超）に急拡大すると予測されています。

当社は、保有する技術資産を用いることで、介護ロボットに対する遠隔での制御や状態監視、高齢者の見守等のサービスができる、付加価値の高い開発に寄与できると見込んでいます。

単位：百万円



注1：メーカー出荷金額ベース

注2：(見)は見込み額、(予)は予想値

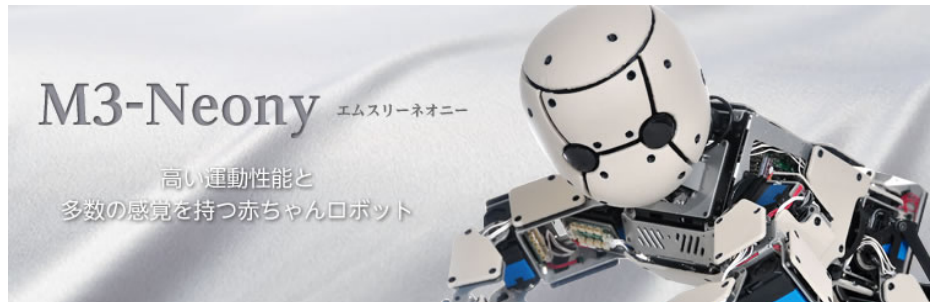
*出所：2014年1月7日矢野経済研究所「介護ロボット市場に関する調査結果2013」

- * 1 ヴイストーン株式会社
大阪府大阪市西淀川区御幣島 2-15-28
資本金 5000 万円
代表取締役 大和 信夫
最高技術顧問 石黒 浩 (大阪大学特別教授)
ホームページ <http://www.vstone.co.jp>

実績 日清食品カップヌードル景品「花のワルツを踊るカップヌードルロボタイマー」開発
株式会社デアゴスティーニ・ジャパンの「週刊ロビ」に付属する二足歩行ロボットキット
「Robi」のCPUボード、センサボード開発
国際宇宙ステーションに滞在するヒト型コミュニケーションロボットの共同研究“KIBO
ROBOT PROJECT”に技術協力
ヴイストーンが参加するロボット研究開発コンソーシアム“Team OSAKA”では、ロボットのサッ
カー競技会Robo Cupにおいて2004～2008年まで、世界大会5連覇を達成



大型 2 足歩行ロボット
「Vstone Tichno」



人間とロボットの認知発達研究の為に開発された「M3-Neony」

<本件に関するお問い合わせ先>
株式会社ネクス
営業部 TEL : 03-5766-9872